

様式1

領収書等添付一覧表

(令和5(2023)年度5月～3月分)

会派名 公明党

支出項目	要請・陳情活動費			
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額	支払先
5 - 1	R5.10.11	内閣府等	74,320円	JR等
5 - 2	R5.11.3	整理番号5-1(要請・陳情活動費)の錯誤分	-1,100円	戻入
5 - 3	R6.3.27	内閣府、経済産業省等	73,600円	JR等
5 - 4		以下空欄		
5 - 5				
5 - 6				
5 - 7				
5 - 8				
5 - 9				
5 - 10				
5 - 11				
5 - 12				
5 - 13				
5 - 14				
5 - 15				
計			146,820円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和5年10月12日

会派名 公明党

氏名 西川 弘美



政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。

月 日	項 目	金 額	備 考
10月4日	旅費	37,620	柏崎駅～東京駅（往復）2人分
10月10日	交通費	1,100	タクシー代
10月11日	旅費	29,400	ホテル宿泊代（一泊朝食付）2人分
10月10日	旅費	200	夕食代 2人分（宿泊費は市の旅費条例（特別職）に規定する額14,800円以内とするため、夕食代は100円とする）
10月11日	旅費	6,000	旅費雑費（1,500円×2人×2日分）
合 計		74,320	
概算（仮）払額			
差引	（請求額）	74,320	
	（返金額）		
10/10～10/11 要請・陳情 （備考） 内閣府、ふるさと回帰支援センター訪問 参加者：真貝維義、西川弘美			

支 出 項 目	☐ 1 調査研究費 ☐ 2 研修費 ☐ 3 広報費 ☐ 4 広聴費 ☒ 5 要請・陳情活動費 ☐ 6 会議費 ☐ 7 資料作成 ☐ 8 資料購入費 ☐ 9 人件費 ☐ 10 事務所	整理番号 （項目別）
		5 - 1

[C制] 乗車券 (かえり) (幹)

区東京都区内 → 柏 崎

經由: 新幹線・信越

10月10日から10月15日まで有効 ¥11,000

券面表示の都区市内各駅下車前迄有効

2023.10.-4 柏崎駅FC1発行
40053-07 (2-)R001C60

[C制] 乗車券 (かえり) (幹)

区東京都区内 → 柏 崎

經由: 新幹線・信越

10月10日から10月15日まで有効 ¥11,000

券面表示の都区市内各駅下車前迄有効

2023.10.-4 柏崎駅FC1発行
40053-06 (2-)R001C60

[C制] 乗車券 (ゆき) (幹)

柏 崎 → 区東京都区内

經由: 信越・新幹線

10月10日から10月15日まで有効 ¥***

券面表示の都区市内各駅下車前迄有効

2023.10.-4 柏崎駅FC1発行
40053-05 (2-)R001C60

[C制] 乗車券 (ゆき) (幹)

柏 崎 → 区東京都区内

經由: 信越・新幹線

10月10日から10月15日まで有効 ¥***

券面表示の都区市内各駅下車前迄有効

2023.10.-4 柏崎駅FC1発行
40053-04 (2-)R001C60

[C制] 新幹線特急券

長 岡 → 東 京

10月10日 (10:49発) (12:28着) C44

とき 316号

¥4,070

9号車16番D座T

2023.10.-柏崎駅FC1 (2-) R001 40053-03

[C制] 新幹線特急券

長 岡 → 東 京

10月10日 (10:49発) (12:28着) C44

とき 316号

¥4,070

9号車16番E座T

2023.10.-柏崎駅FC1 (2-) R001 40053-02

[C制] 新幹線自由席特急券

東 京 → 長 岡

10月11日当日限り有効

途中出場できません。

¥3,740

2023.10.-4 柏崎駅FC1発行
00056-02 (2-)R002C51

[C制] 新幹線自由席特急券

東 京 → 長 岡

10月11日当日限り有効

途中出場できません。

¥3,740

2023.10.-4 柏崎駅FC1発行
00056-03 (2-)R002C51

領 収 書 等 整 理 票

会派名

公明党

整理番号

5 - 1 - 2

支 出 項 目				※該当する項目に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費	
⑤ 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
9 人件費	10 事務所費			

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 書

No.4210

日付 '23年10月10日

車番 0123 000

基本運賃 ¥1100円

運賃料金計 ¥1100円

合計 ¥1100円

上記の通り領収致しました

消費税率 10%

登録番号:T6010701004061

毎度ご乗車ありがとうございます

品川タクシー株式会社

東京都品川区東品川1-9-8

03(3471)4174

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領 収 証

ホテル ルポール麹町

麹町会館

お名前
GuestName シンガイ ツナヨシ 様東京都千代田区平河町2丁目4番3号
〒102-0093 TEL.03(3265)5361

お部屋番号 ROOM No.	ご人数 PERSON	泊数 NTS	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	No.
703	1	1	2023/10/10	2023/10/11	2023/10/11 09:58	583643-0-0

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘 要 EXPLANATION	単価 PRICE	数量 Q'TY	料金 CHARGE	お支払 CREDIT
10/10	703	朝食付シニアプラン (10.0% 合計	14,700 ¥14,600	1 内消費税	14,700 ¥1,327)	
					14,700	0
差引ご請求金額 BALANCE DUE					CR	14,700

ご利用金額には、宿泊税 100円が含まれています。

ご署名
SIGNATUREご請求先
COMPANYご請求先住所
ADDRESSご利用いただきましてありがとうございます。
またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you very much for your patronage.
May we have the pleasure of serving again.

18

印紙税法
第5条の規定
により収入
印紙貼用せず登録名称 地方職員共済組合
登録番号 T2700150001147

公明党 5-1-4

領 収 証

ホテル ルポール麹町

麹町会館

お名前
GuestName サイガワ ヒロミ 様

東京都千代田区平河町2丁目4番3号
〒102-0093 TEL03(3265)5361

お部屋番号 ROOM No.	ご人数 PERSON	泊数 NTS	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	No.
708	1	1	2023/10/10	2023/10/11	2023/10/11 09:37	583633-0-0

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘 要 EXPLANATION	単価 PRICE	数量 Q'TY	料 金 CHARGE	お支払 CREDIT
10/10	708	レディースプラン (10.0% 合計	14,700 ¥14,600	1 内消費税	14,700 ¥1,327)	
					14,700	0
差引ご請求金額 BALANCE DUE					CR	14,700

ご利用金額には、宿泊税 100円が含まれています。

ご利用いただきましてありがとうございます。
またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you very much for your patronage.
May we have the pleasure of serving again.

ご署名
SIGNATURE

ご請求先
COMPANY

ご請求先住所
ADDRESS

印紙税法
第5条の規定
により収入
印紙貼用せず

登録名称 地方職員共済組合⁵
登録番号 T2700150001147

会派長

政務活動費

令和 5 年 10 月 23 日

会派名 公明党

氏 名 真貝維義

西州弘美

政務活動報告書

次のとおり報告します。

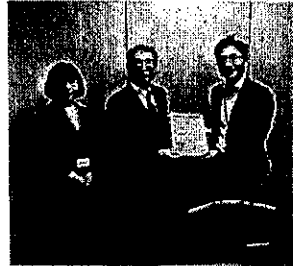
種 別	☐ 調査研究 (☐ 行政視察) ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議			
期 間	令和5年10月10日(火) ～ 令和5年10月11日(水)			
1	日 時	10/10	13:30	～ 10/10 14:00
	用 務	内閣府原子力防災担当 訪問		
	出張先 又は会場	内閣府 (東京都千代田区永田町1-6-1)		
	調査又は 要望項目 (※)	柏崎刈羽原子力発電所における原子力災害時の柏崎市及び刈羽村の住民避難を円滑にするための避難道路の整備による住民の安全と安心の確保の要望		
	対応者 (※)	原子力防災担当政務統括官付参事官 野口康成氏		
	報 告	別紙のとおり		
2	日 時	10/11	13:30	～ 10/11 14:30
	用 務	ふるさと回帰支援センター 訪問		
	出張先 又は会場	ふるさと回帰支援センター (東京都千代田区有楽町2-10-1)		
	調査又は 要望項目 (※)	最近の移住の傾向性と移住相談に見る移住希望者の動向について調査		
	対応者 (※)	にいがた暮らし・しごと支援センター有楽町オフィス相談員 氏		
	報 告	別紙のとおり		

※研修会、各種会議は記入不要

出張報告

報告日

令和5年10月23日

会 派 名	公明党				
報告者氏名	真貝維義、西川弘美				
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議				
用 務	内閣府原子力防災担当 訪問				
日 時	令和5年10月10日（火）		13:30～14:00		
場 所	内閣府（東京都千代田区永田町1-6-1）				
（会 場）					
調査項目等	内閣府：原子力防災について				
概 要	柏崎刈羽原子力発電所における原子力災害時の柏崎市及び刈羽村の住民避難を円滑にするための避難道路の整備による住民の安全と安心を確保するための要望を行った。 原子力防災担当政務統括官付参事官 野口康成氏 原子力発電所立地地域の住民の安全・安心の確保のために、新潟県・柏崎市・刈羽村からの「原子力災害時の住民避難を円滑にするための道路の整備等について」の要望を踏まえて対応をしていきたい。現在、新年度に向けて資源エネルギー庁及び国土交通省などと協議を行っている。 				
所 感 等	原子力防災に関して、新潟県・柏崎市・刈羽村からの「原子力災害時の住民避難を円滑にするための道路の整備等について」の要望を踏まえて、しっかりと検討いただいていることが確認できた。				

出張報告

報告日

令和5年10月23日

会 派 名	公明党
報告者氏名	真貝維義、西川弘美
種 別	■調査研究（□行政視察） □研修会 □要請・陳情 □各種会議
用 務	ふるさと回帰支援センター 訪問
日 時	令和5年10月11日（水） 13：30～14：30
場 所	ふるさと回帰支援センター（東京都千代田区有楽町2-10-1）
（会 場）	
調査項目等	ふるさと回帰支援センター：移住相談の傾向について
概 要	最近の移住の傾向性と移住相談に見る移住希望者の動向について調査を行った。 ・ふるさと回帰支援センターの移住情報センターには、東京都を含む44都道府県1政令市の移住相談ブースが並び、全国各地の移住情報を入手できる。 ・ふるさと回帰支援センターの現状について資料に基づき説明をいただいた。移住相談はコロナ禍で相談件数が落ちたが、右肩上がりの傾向は続いており、移住相談も年間約5万件に達するとのことである。 ・最近の移住者の傾向は以下の通り。 相談件数が年々増加している。 相談者も40代30代へと年齢が下がってきている。 移住先の条件としては、就労する場があること。 また、地域的には地方都市、住居は賃貸とのことである。 
所 感 等	最近の移住相談等から見たデータを基に、移住相談の現状を伺った。相談年代が30代40代と若くなっていることから、就労の場やある程度の利便性のある地方都市が選ばれる傾向にある。柏崎を含む新潟県は、もともと縁のある方が移住する傾向があるとのこと。（真貝） センターの役割や移住相談の状況などをお聞きした。以前は、“定年退職後の田舎暮らし”といった目的が多かったものの、最近はニーズが変化していること、若年化していることや、住むための条件として働く場の確保が欠かせないことなどが理解できた。柏崎市が移住先に選ばれるために、データ資料を参考に多角的にアプローチすることが必要であると感じた。（西川）

様式 3

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和 5年10月6日

会派名 公明党

氏 名 真貝維義

西川弘美

政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議	
期 間	令和5年10月10日(火) ～ 令和5年10月11日(水)	
用 務	1	内閣府原子力防災担当 訪問
	2	ふるさと回帰支援センター 訪問
出張先 又は会場	1	内閣府（東京都千代田区永田町1-6-1）
	2	ふるさと回帰支援センター（東京都千代田区有楽町2-10-1）
調査又は 要望項目	1	内閣府：原子力防災について
	2	ふるさと回帰支援センター：移住相談の傾向について
※研修会、各種会議は記入不要		
そ の 他		

添付書類

- ・市外への出張は、行程表等
- ・研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等（写し）

様式 3-2

1 主な行程

月 日	発着地	視察地	用務	宿泊地	備考
10/10	柏崎駅 発 東京駅 着	内閣府	要請・陳情	東京	
10/11	東京駅 発 柏崎駅 着	ふるさと回帰支援センター	調査		
/					
/					
/					
/					

☐ 前泊必要 (理由 :

☐ 後泊必要 (理由 :

2 必要経費

- ・ 旅費 20,000 円 × 2 人
- ・ 宿泊費 14,700 円 × 2 人 (一泊朝食付)
- ・ 夕食代 100 円 × 2 人
- ・ 旅費雑費 1,500 円 × 2 人 × 2 日分

宿泊費は市の旅費条例(特別職)に規定する額(14,800円)以内とするため、
夕食代は100円とする

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和5年11月3日

会派名 公明党

氏名 西川 弘美

政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。

月 日	項 目	金 額	備 考
11月3日	交通費	-1,100	整理番号5-1（要請・陳情活動費）の 錯誤分
合 計		-1,100	
概算（仮）払額			
差引	（請求額）		
	（返金額）	1,100	
（備考） 整理番号5-1（要請・陳情活動費）の錯誤による修正			

支 出 項 目	☐ 1 調査研究費 ☐ 2 研修費 ☐ 3 広報費 ☐ 4 広聴費 ☒ 5 要請・陳情活動費 ☐ 6 会議費 ☐ 7 資料作成 ☐ 8 資料購入費 ☐ 9 人件費 ☐ 10 事務所	整理番号 （項目別）
		5 - 2

領 収 書 等 整 理 票

会派名

公明党

整理番号

5 - 1 - 2

5 - 2

支 出 項 目				※該当する項目に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費	
⑤ 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	○
9 人件費	10 事務所費			

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 書

No.4210

日付 '23年10月10日

車番 0123 000

基本運賃 ¥1100円

運賃料金計 ¥1100円

合計 ¥1100円

上記の通り領収致しました

消費税率 10%

登録番号:T6010701004061

毎度ご乗車ありがとうございます

品川タクシー株式会社

東京都品川区東品川1-9-8

03(3471)4174

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和6年3月29日

会派名 公明党

氏名 西川 弘美 

政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。

月 日	項 目	金 額	備 考
3月19日	旅費	38,000	柏崎駅～東京都区内（往復）2人分
3月26日	旅費	29,600	ホテル宿泊代(素泊まり)2人分（限度額内のホテルがとれず上限額で請求）
3月27日	旅費	6,000	旅費雑費(1,500円×2人×2日分)
合 計		73,600	
概算（仮）払額			
差引	（請求額）	73,600	
	（返金額）		
(備考) 3/26～3/27 要請・陳情 参議院議員、衆議院議員、内閣府、資源エネルギー庁、東京電力ホールディングス訪問 参加者：真貝維義、西川弘美			

支 出 項 目	☐ 1 調査研究費 ☐ 2 研修費 ☐ 3 広報費 ☐ 4 広聴費 ☒ 5 要請・陳情活動費 ☐ 6 会議費 ☐ 7 資料作成 ☐ 8 資料購入費 ☐ 9 人件費 ☐ 10 事務所	整理番号 (項目別)
		5 - 3

領 収 書 等 整 理 票

会派名 公明党

整理番号 5 - 3 - 1

支 出 項 目				※該当する項目に○印
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費	
⑤ 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
9 人件費	10 事務所費			

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

2024年 3月19日

柏崎市議会公明党 様

金38,000円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

柏崎801 No.000010

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領収書

skyticket
by ADVENTURE

№: 1812444

入金日: 2024 年03月11日

発行日: 2024 年03月28日

眞貝 維義

様

¥16,470-

但 宿泊代 (2024年3月26日 1泊)
として上記金額を領収いたしました。

アパホテル 六本木SIX

支払方法 : クレジットカード

税率	10 %
課税対象 (内消費税)	16,470 1,497
税率	不課税
不課税対象 (内消費税)	0 0

株式会社アドベンチャー

〒150-6024

東京都渋谷区恵比寿4-20-3

恵比寿ガーデンプレイスタワー24F

登録番号: T5011001050532



領収書

発行 No.2409356263

表示日：2024年3月27日

下記、宿泊施設を代理して正に領収いたしました。

宛名 西川 弘美 様

金額 10%対象
¥18,000- (税込・サ込) 内消費税額 ¥1,636

*但し、宿泊代金として(クレジットカード決済)

予約番号 0WKE6XKK

ご利用施設 アパホテル〈六本木SIX〉
(じゃらんnet)

宿泊日 2024年3月26日より 1泊

決済日 2024年3月11日

*本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

*発行後に予約変更、キャンセルされた場合、本領収書は無効になります。

株式会社
リクルート

株式会社 リクルート

〒100-6640

東京都千代田区丸の内1-9-2グラントウキョウサウスタワー

登録番号：T5010001149426

ご利用明細書

発行 No.2409356263

表示日：2024年3月27日

宿泊内容

宿泊日	予約番号	施設名	人数	室数	泊数
2024年3月26日(火)	0WKE6XKK	アパホテル〈六本木SIX〉	1	1	1

宿泊代表者氏名

西川 弘美 様

会派長
眞貝

政務活動費

令和 6年3月 29日

会派名 公明党

氏 名 眞貝維義 西川弘美

政務活動報告書

次のとおり報告します。

種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議	
期 間	令和6年3月26日（火） ～ 令和6年3月27日（水）	
1	日 時	3/26 16:30 ～ 3/26 16:55
	用 務	参議院議員 訪問
	出張先 又は会場	参議院議員会館（東京都千代田区永田町2-1-1）
	調査又は 要望項目 （※）	柏崎刈羽原子力発電所再稼働及び原子力防災に関する陳情・要望
	対応者 （※）	竹内慎二参議院議員
	報 告	別紙のとおり
2	日 時	3/26 17:00 ～ 3/26 17:30
	用 務	衆議院議員 訪問
	出張先 又は会場	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2-2-1）
	調査又は 要望項目 （※）	柏崎刈羽原子力発電所再稼働及び原子力防災に関する陳情・要望
	対応者 （※）	中川宏昌衆議院議員
	報 告	別紙のとおり

※研修会、各種会議は記入不要

3	日 時	3/27 10:15 ~ 3/27 10:45
	用 務	内閣府原子力防災担当 訪問
	出張先 又は会場	内閣府（東京都千代田区永田町1-6-1）
	調査又は 要望項目 (※)	柏崎刈羽原子力発電所再稼働及び原子力防災に関する陳情・要望
	対応者 (※)	内閣府 政策統括官（原子力防災担当）付 参事官（総括担当）野口康成
	報 告	
4	日 時	3/27 14:00 ~ 3/27 15:00
	用 務	経済産業省資源エネルギー庁長官 訪問
	出張先 又は会場	経済産業省資源エネルギー庁（東京都千代田区霞が関1-3-2）
	調査又は 要望項目 (※)	柏崎刈羽原子力発電所再稼働に関する要望
	対応者 (※)	経済産業省資源エネルギー庁 政策統括調整官 山田仁
	報 告	
5	日 時	3/27 15:30 ~ 3/27 16:30
	用 務	東京電力ホールディングス株式会社 訪問
	出張先 又は会場	東京電力ホールディングス(株)（東京都千代田区内幸町1-1-3）
	調査又は 要望項目 (※)	柏崎刈羽原子力発電所再稼働に関する要望
	対応者 (※)	東京電力ホールディングス(株) 代表執行役社長 小早川 智明
	報 告	

※研修会、各種会議は記入不要

出張報告

報告日

令和6年3月29日

会 派 名	公明党				
報告者氏名	真貝維義、西川弘美				
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議				
用 務	参議院議員 訪問				
日 時	令和6年3月26日(火)16:30	～	同日 16:55		
場 所	参議院議員会館（東京都千代田区永田町2-1-1）				
(会 場)					
調査項目等	参議員議員：柏崎刈羽原子力発電所再稼働及び原子力防災に関する陳情・要望				
概 要	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望と緊急防護措置区域における耐震化率向上に向けた補助制度創設の要望を行った。 竹内慎二 参議院議員 再稼働に関しては、新規制基準に合格し地元理解を得た原子力発電所については、再稼働を認めた公明党の原子力政策にも合致すること、脱炭素社会の構築、電力の安定供給にも資することから、資源エネルギー庁等に働きかけをする。 能登半島地震のみならず、頻発している自然災害に強いまちづくりに関する耐震化率向上に向けた補助制度については、公明党としても取り組んでいるものである。また、竹内参議院議員は、能登半島地震発生後、新潟市や上越市・佐渡市の被害状況も確認しており、今後とも内閣府をはじめ関係省庁に働きかけ、新制度の創設を働きかけるとの回答を得ることができた。				
所 感 等	原子力発電所の再稼働に向けて、原子力政策や原子力防災の観点から率直に意見交換ができた。				



出張報告

報告日

令和6年3月29日

会 派 名	公明党
報告者氏名	真貝維義、西川弘美
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	衆議院議員 訪問
日 時	令和6年3月26日（火）17:00 ～ 同日 17:30
場 所	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2-2-1）
（会 場）	
調査項目等	衆議院議員：柏崎刈羽原子力発電所再稼働及び原子力防災に関する陳情・要望
概 要	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望と緊急防護措置区域における耐震化率向上に向けた補助制度創設の要望を行った。 中川宏昌衆議院議員 再稼働に関しては、新規制基準に合格し地元理解を得た原子力発電所については、再稼働を認めるとした公明党の原子力政策にも合致すること、脱炭素社会の構築、電力の安定供給にも資することから、資源エネルギー庁等に働きかけをすること。 能登半島地震のみならず、頻発している自然災害に強いまちづくりに関する耐震化率向上に向けた補助制度については、公明党としても取り組んでいるものである。中川衆議院議員は、北信越比例ブロック選出議員であることから、立地地域全体としてとらえて公明党として内閣府に要望するよう陳情し、内閣府をはじめ関係省庁に働きかけるとの回答を得た。 
所 感 等	中川議員が能登地震の現場に入っており、現状を把握していることから、耐震化に関して具体的な話をする事ができた。今後も引き続き情報共有・連携していきたい。

出張報告

報告日

令和6年3月29日

会 派 名	公明党
報告者氏名	真貝維義、西川弘美
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	内閣府原子力防災担当 訪問
日 時	令和6年3月27日(水)10:15 ～ 同日 10:45
場 所	内閣府（東京都千代田区永田町1-6-1）
(会 場)	
調査項目等	内閣府：柏崎刈羽原子力発電所再稼働に関する要望
概 要	緊急防護措置区域における耐震化率向上に向けた補助制度創設の要望を行った。 内閣府 政策統括官（原子力防災担当）付 参事官（総括担当）野口康成氏 「地震後に地元から細かい部分で提案いただくことは有り難い」と感謝の言葉をいただいた。 能登半島地震の影響で、再稼働に対する不安の声が大きい現状を踏まえて、原子力発電所の再稼働の必要性については、資源エネルギー庁、安全性については原子力規制委員会、避難計画について内閣府が責任をもって、市民県民に納得できる説明をお願いした。 政策統括官からは、国として取組んでいくとの回答を得た。
所 感 等	柏崎刈羽原子力発電所再稼働と、この度の令和6年能登半島地震を踏まえ、内閣府がより一層住民の安全・安心のために対策を検討していることが確認できた。また、地元から具体的な提案を行っていくことの重要性を再認識した。



出張報告

報告日 令和6年3月29日

会派名	公明党
報告者氏名	真貝維義・西川弘美
種別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用務	経済産業省 資源エネルギー庁 訪問
日時	令和6年3月27日（水）14:00～15:00
場所 （会場）	経済産業省 資源エネルギー庁（東京都千代田区霞が関1-3-1）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概要	柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を採択したことを受け、国の新規制基準に適合する号機の早期再稼働を実現するための要望を行った。 【山田 仁 資源エネルギー庁 政策統括調整官】 2050年カーボンニュートラル実現に向けて原子力発電は欠かせない。令和4年以来、東日本エリアは電力需給ひっ迫が2回あり、政府による節電要請を行ってきた。原子力発電所が再稼働している西日本エリアに比べ、東日本エリアでは厳しい状況が続いている。東日本エリアの電力を強靱化するためには、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働が必要である。 令和6年能登半島地震を経ても、国の原子力防災指針の大筋は変わらない。新規制基準や避難計画に対するわかりやすい啓発、立地地域の経済効果を上げる取組を、内閣府をはじめとする他部署と連携しながら推進したい。 東京電力HD（株）に対しては引き続き安全性向上に取り組み、信頼回復に努めることを求めている。
所感等	山田仁政策統括調整官からは、柏崎刈羽における議会の取り組み、また地元の苦勞に感謝の言葉をいただいた。 能登半島地震の影響で、再稼働に対する不安の声が大きい現状を踏まえて、原子力発電所の再稼働の必要性については、資源エネルギー庁、安全性については原子力規制委員会、避難計画について内閣府が責任をもって、市民県民に納得できる説明をお願いした。政策統括調整官からは、国として取り組んでいくとの回答を得た。

出張報告

報告日

令和6年3月29日

会 派 名	公明党
報告者氏名	真貝維義・西川弘美
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☐ 研修会 ☒ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	東京電力ホールディングス株式会社 訪問
日 時	令和6年3月27日（水）15:30～16:30
場 所 （会場）	東京電力ホールディングス株式会社（東京都千代田区内幸町 1-1-3）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概 要	柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を賛成多数で採択したことを報告し、安全性向上と信頼回復に向けた取組みの推進を要望した。 【小早川 智明 代表執行役社長】 立地地域において原子力発電所が存在することのメリットを実感していただくことが、共存共栄につながると考える。しかし、かねてから要望されている立地地域での発電事業（地元への電力供給）には課題が多い。まずは地域に根を張る企業であるために、令和8年の本社機能移転を機に、社員約300人がエネルギーホール跡地に建設予定の原子力・立地本部事務所に異動するとともに、田尻工業団地内に東京電力柏崎レジリエンスセンターの建設も決定した。 東日本エリアの電力需給はひっ迫し、安定的な電力供給のために早期に戦線に復帰したい。そのためにも安全性向上と地域振興に資する事業展開を進めていく。
所 感 等	事前をお願いをした①1～5号機に対する見解、②今後の地域振興、③使用済核燃料の保管、④直流海底ケーブルについての4点について回答をいただいた。発電所の安全対策への理解促進、地域貢献と経済効果等、小早川社長より見解を伺うことができた。 再稼働は何よりも東京電力の信頼回復であるが、東京電力だけでは課題が多くあり、国との連携が必要であると再認識をした。再稼働に向け、更なる安全対策・地元への丁寧な説明が求められる。



様式3

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和 6年3月21日

会派名 公明党

氏名 真貝維義  西川弘美 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	□調査研究 (□行政視察) □研修会 ■要請・陳情 □各種会議	
期 間	令和6年3月26日(火) ~	令和6年3月27日(水)
用 務	1	参議院議員 訪問
	2	衆議院議員 訪問
	3	内閣府原子力防災担当 訪問
	4	経済産業省資源エネルギー庁長官 訪問
	5	東京電力ホールディングス株式会社 訪問
出張先 又は会場	1	参議院議員会館 (東京都千代田区永田町2-1-1)
	2	衆議院第一議員会館 (東京都千代田区永田町2-2-1)
	3	内閣府 (東京都千代田区永田町1-6-1)
	4	経済産業省資源エネルギー庁 (東京都千代田区霞が関1-3-2)
	5	東京電力ホールディングス(株) (東京都千代田区内幸町1-1-3)
調査又は 要望項目	1	参議員議員：柏崎刈羽原子力発電所再稼働及び原子力防災に関する陳情・要望
	2	衆議院議員：柏崎刈羽原子力発電所再稼働及び原子力防災に関する陳情・要望
	3	内閣府：柏崎刈羽原子力発電所再稼働に関する要望
	4	資源エネルギー庁：柏崎刈羽原子力発電所再稼働に関する要望
	5	東京電力：柏崎刈羽原子力発電所再稼働に関する要望
※研修会、各種会議は記入不要		
そ の 他	資源エネルギー庁、東京電力ホールディングスには他の会派（柏崎の風、柏盛クラブ、民社友愛、自治研究会）と合同で訪問	

添付書類

- ・市外への出張は、行程表等
- ・研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等（写し）

様式 3 - 2

1 主な行程

月 日	発着地	視察地	用務	宿泊地	備考
3/26	柏崎駅 発 東京駅 着	参議院議員会館 衆議院議員会館	要請・陳情	東京	
3/27	東京駅 発 柏崎駅 着	内閣府、経済産業 省資源エネルギー 庁、東京電力ホール ディングス(株)	要請・陳情		
/					
/					
/					
/					

☐前泊必要 (理由:

☐後泊必要 (理由:

2 必要経費

- ・ 旅費 20,000 円× 2 人
- ・ 宿泊費 14,800 円× 2 人 (素泊まり)
- ・ 朝食代・夕食代 0 円× 2 人
- ・ 旅費雑費 1,500 円× 2 人× 2 日分
- ・ 他、タクシー代

宿泊費は市の旅費条例(特別職)に規定する額(14,800円)以内とするため、朝食代・夕食代は0円とする